

学 校 長 様  
 技術・家庭科担当者 様  
 関係する 皆 様

長野県技術・家庭科教育研究会  
 会 長 湯 田 博

## 第14回 全国中学生創造ものづくり教育フェア 長野県大会 実施要項

木工チャレンジコンテスト 製作部門 <技術分野 木工部門>  
 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール <家庭分野 衣服部門>  
 「あなたのためのおべんとう」コンクール<家庭分野 食物部門>  
 創造アイデアロボットコンテスト<技術分野 ロボコン部門>  
 生徒作品コンクール 長野県選考会

**1 目 的** この大会は中学校技術・家庭科教育の一環として中学校生徒に広くものづくり教育の実践・発表の機会を与え、技能の向上と生徒の相互の親睦をはかるものとする。

**2 主 催** 長野県技術・家庭科教育研究会

**3 後 援** 長野県教育委員会 信濃教育会

**4 期 日** 平成25年11月 2日(土) 木工チャレンジコンテスト 製作部門  
 11月 2日(土) 「あなたのためのおべんとう」コンクール  
 11月 2日(土) 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール  
 11月16日(土) 創造アイデアロボットコンテスト  
 11月23日(土) 生徒作品コンクール

**5 会 場** 松本市立清水中学校・千曲市立更埴西中学校体育館(ロボコン)  
 イオン佐久平ショッピングセンター(生徒作品)

### 6 運営スタッフ

大会長	長野県技術・家庭科研究会会長	湯田 博
副大会長	長野県技術・家庭科研究会副会長	芳原慶子
審査委員	木工部門	上條 勝 高山和夫
	バッグ	福田典子 西脇育子
	おべんとう	石原三妃 正木みどり
	作品コンクール	各地区の代表者
事務局	小須田広利(小諸養護)	
	木工部門	大槻 尚(豊丘中)
	衣服部門	丸山 直子(緑ヶ丘中)
	食物部門	滝沢かおり(清水中)
	ロボコン部門	高井 久(上田第三中)
	生徒作品	大井 好文(御代田中)

### 7 日程

受 開 競	付 式 技	9:00~(正面玄関)
		9:30~(3年ホール:北校舎2階)
		10:00~12:00(木工・バッグ) (お弁当はプレゼンまで行う)
昼 競	食 技	12:00~12:40
		12:40~14:40(木工)
		12:40~13:40(バッグ)
発 表 体	会 験	13:40~14:00(バッグ)
		15:00~15:30(木工)
		14:00~15:30(バッグ・お弁当)
閉 会 式		16:00~16:30

## 8 参加生徒

木工部門	各地区から選考された12名
衣服部門	作品、レポートを提出した生徒から10名
食物部門	レポートを提出した生徒から8組
作品コンクール	各地区で推薦された作品

## 9 県大会課題

＜技術：木工＞ 自由課題製作を4時間で行う。与えられる材料は使用する材料はヒノキ集成材 (t=15×200×900 2枚) とする。長野県代表を1名選考し全国審査にエントリーする。

評価の観点

※全国大会に準じる

1. 作品の構想力・独創性
2. 木工作業の計画性・合理性・安全性
3. 木工技能の精度・合理性
4. 作品の機能性・精度
5. 製作効率

※表面削りを行うこと(削り面は評価しない。削る姿勢を審査する。表面削りの時間延長も考慮する) ※当日設計図のコピーをお持ちください。

＜家庭：衣服＞ 長野県代表を3名選考し、3名の作品は関東甲信越大会(12月1日栃木県)にエントリーする。

製作について

- ①デザインについては各自工夫する。裏地はつけずに一重仕立てとする。
- ②材料は2000円以内とする。
- ③立体構成にする。『バッグ』の口がふさがるようにする。
- ④ポケットは必ず、1つ以上つける。
- ⑤スナップは必ず1つ以上つける。
- ⑥布の裁断は事前に行っておき、当日の競技は縫製から始めることができるようにする。
- ⑦当日製作した『バッグ』の利用について、実際に入れるものを使いながら発表会を行う。1分程度の発表を行う。

＜家庭：食物＞ 第13回全国中学生創造ものづくり教育フェアの規定に従って魚を使った弁当を調理。長野県代表1グループを選考し、全国審査にエントリーする。(12月4日全国レポート審査)

規定課題 魚(切り身、冷凍、缶詰、干物)を使った調理

## 10 生徒作品コンクール 長野県選考会

- ①期 日 11月23日(土)～24日(日) 審査, 展示
- ②会 場 イオン佐久平ショッピングモール
- ③募集作品 各地区の展示から選び、23日に係が持参する。
- ④内 容 委員が技術分野5点, 家庭分野5点を長野県代表として選考する。

### I 授業内製作作品 部門

技術分野、家庭分野共に、教科の授業内に於いて授業時間内に創造製作をした作品の部門。(総合学習のもの、放課後活動等は含みません。)

### II 自主製作作品 部門

技術分野・家庭分野共に、長期休業や放課後活動等で、技術・家庭科で学習した知識や技術を発揮して製作した創造製作作品の部門。

### ⑤応募作品の規定など

【大きさの制限】縦+横+高さ=160cm 重量 25kgを超えないこと。

【作品製作費の制限】 I部門は、製作費が5000円以下であること。

【制限に関する追記事項】

・家庭分野衣類に関しては、人台に着せられるもの。

・家庭分野、折りたためて郵送できる大型作品については、900mm×1500mm以内

### ⑥各地区委員が中心となり作品を選考する。